

真の父母様を迎えましょう

4月1日に真のお母様が日本に来られました。誰にも連絡されず、付添を一人だけ連れて来られました。お父様が21歳の青年の時に日本の下関に来られた日です。72年ぶりにお父様と一緒に母様が来日されました。お父様が入国されたのは21年前の3月26日です。揮毫と植樹を残されながら4月1日に帰られました。日本に入りたかったお父様は今回お母様を通して日本に入られました。今、真のお父様の生涯博物館を作りたいと願われているお母様であります。お父様の揮毫を集めようとして見ている人が見ればお父様の揮毫は特別な内容があります。以前、お父様の年頭標語をみて、この方はメシヤであると断言された方もいます。そして揮毫を集めて、巡回展示会をする予定です。東洋の人は揮毫を見ただけでわかるのです。お母様の考えは真のお父様の考えです。完全一つであるということです。真のお父様を感じなければなりません。そして真の父母様が日本に来られる事と、来られない事では大きな違いがあります。日本に復活の火をつけて下さる真の父母様であります。2020ビジョンを通して、ニュージャパン、グレートジャパン、ヴィクトリージャパン、そして愛される統一教会に、日本の国に必要な統一教会にならなければならないということです。そうするために、どのようにすればいいのでしょうか。真のお父様の聖和後でどう変わったのでしょうか？復活したイエスは弟子たちを一人一人捜し、生きた神様の息子であるという事がわかったのです。ですから今、統一教会に変化が起こるはずで、それには純粋に真の父母様を迎えることが出来る人が必要です。一番純粋な人、素直な人は私です。そのことによって聖霊の役事は起こるはずで、復活の役事によって、人口の33%がイエス様をメシヤとして侍っているのです。イエス様がメシヤであったことの証です。今、真のお父様がメシヤであるということを証ししなければなりません。我々一人一人にかかっています。天一国の民として入籍した私たちがどれほどの心情で受け入れているのかということが問題なのです。最後の遺言、氏族メシヤになりなさい。そして2020を勝利すれば自動的に勝利できます。夫婦が一つになったところに氏族メシヤの勝利ができるのです。真の父母様を皆さんの家庭、皆様の心から迎えてそこに役事が起きるそのような教会になるよう祈願いたします。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
神様と真の御父母様の祝福が共にありますよう。お祈り致します

1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2、2013年伝道勝利のための50日路程

路程スローガン「新氏族メシヤ活動の定着と爆発的伝道の出発！」
期間：2013年3月24日(日)～5月12日(日)(50日間)

3、基元節祝賀フェスティバルを行いました。

去る4月21日埼玉会館で12組の祝福を挙行いたしました。

4、第2回清心会を行いました。

4月24日、ベルヴィ武蔵野で第2回清心会を行いました。

5、東埼玉教会5月度出発式

期日：5月2日(木)10:30～

対象：東埼玉教会全食口

場所：浦和教会

6、連合食口礼拝

来る5月5日(日)に韓国清心平和ワールドセンターにおいて、真の父母様の主催による「連合食口礼拝」が開催されます。

7、清平役事19周年記念2013全世界食口伝道大会

伝道期間：2013年陽暦1月1日～2013年12月20日まで

対象：全世界食口及び教会

8、成和学生子女祈禱文

祝福家庭の2世、3世を含めたすべての成和学生と成和子女たちがこの祈禱文で祈るようお願いいたします。

①祈禱の結びが、「祝福家庭 2世(3世) ○○○○の名前で報告します。アジュ!」と、変更になります。

②未祝福の信仰二世は今まで通り「真の父母様の名によってご報告いたします。アジュ」と祈ります。ただし、信仰二世でも両親が既に祝福を受けていたり、今後受ける予定の家庭もあり、また信仰二世本人に対する教育上の事情も考慮し、祝福二世と同様に「祝福家庭 2世○○○○の名前で(名によって)報告します。アジュ!」としても構いません。

9、還元祈願聖火式

日時：4月25日(土)

場所：北海道帯広「弥勒の里」

10、第31回全日本聖和祝祭の御案内

日時：2013年5月26日(日)

中心開催場所：統一教会尾瀬霊園

【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代

天地人真の父母勝利解放完成時代



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長：李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

式次第



執礼者：李炯燮教区長

司会者：赤岩弘一伝道部長

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 天一国の歌	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈禱	吉田 翠
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	天一国の功臣になろう	
※讃 頌 聖歌 19 番	全 体
※祝 禱	教区長
※全体祈禱	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

4/25御聖婚53周年記念式典 TMのみ言

私たちは復帰歴史の春を迎えましたね。そして今は2013年4月の春です。春を準備する一番忙しい人たちは誰ですか？ 農夫ですね。皆さんはどうですか？ 皆さんは農夫の心を持って、天が私たちに付与して下さった責任を完成することのできる希望の日を準備しましたか？

冬の寒さを耐え抜いて暖かい春を迎えるのですが、農夫たちは暖くなる前の冬の間に春の計画を立てるのです。春になったらどんな種を畑にまいて、秋に豊かな実りをもたらそうかと考えます。今皆さんがみ旨の中で農夫だとすれば、皆さんに付与された氏族メシヤの使命を成就すること、それが皆さんの悲願になります。そして、その成就是皆さんにかかっています。実感しますか？

今のようなすばらしい季節を迎えても、もし皆さんが頑張らないとすれば、秋になって収穫の季節を迎えても皆さんが得られるものは小さなものになってしまうでしょう。祝福を受ける立場では、ただ黙って座っていて受けられるものではありません。

今日、TPの生涯の短いビデオを見ました。TPから認められる人生を生きようとすれば、皆さんはどのような生き方をしなければいけませんか？ 各自の国で、自分の家庭で、皆さんは生活してきた訳です。しかし、TPに出会った皆さんは考えが小さいですか、大きいですか？ 考えが大きいならば、行動はどのようにしなければならぬか、皆さん分かりますね？

そうならば皆さんはどのように苦勞し、どのように精誠を捧げて実りを収穫していくようになるかを考えなければなりません。また、2013年の聖和1周年を迎えるにあたり、皆さんはどのような姿で、どのような実績を持って、TPに感謝の心を持ってお会いするようになるのか、期待しています。一生懸命頑張ってください。

